

吉玉典生会頭は、コロナ禍が猛威を振るった昨年を振り返って「収束の見通しは立たないが、明らかになった課題に行政と民間の連携で対応し、より活性化した地域を目指す」と新年の抱負。ニューイヤー駅伝における旭化成の健闘にも触れ、「大変なプレッシャーの中で3位は素晴らしい成績。来年のリベンジにも期待したい」と話した。

来賓の読谷山洋司延岡市長は、2019年から市内の25〜39歳人口が増加していることなどを挙げて「みなさんと共にこうしたい流れを確かなものにしていきたい」。江

藤拓衆議院議員は「県や市、地元の方々と意思の

疎通を図ってしっかりと責任を果たし、年末に今年はいい年だったと言いうことができれば」とあいさつした。

会場では鏡開きも行われ、出席者は時節に合わせて短いあいさつを交わしながら、新年の飛躍を誓い合っていた。

延岡商議所 新年交礼会

1/4 コロナ対策しながら 飛躍誓う

延岡商工会議所の新年交礼会はきょう、延岡市紺屋町のエンシテイホテル延岡であった。市内の

政財界や企業代表者ら約130人が出席した。今年には新型コロナウイルス感染症対策のため各団体と

も1人ごみの参加。各テーブルでソーシャルディスタンスを保つての実施となった。



延岡商工会議所の新年交礼会

旭化成3位 5連覇ならず

④ ニューイヤーカー 駅伝優勝は富士通

元日恒例の第65回全日本実業団対抗駅伝競走(ニューイヤーカー)は、前橋市の群馬県庁100キのコースに36チームが出場して行われ、富士通が4時間48分52秒で



第65回全日本実業団対抗駅伝競走。3位でゴールする旭化成7区の市田孝(1日、群馬県前橋市)

12年ぶり3度目の優勝を果した。

トヨタ自動車が一分三秒差で2位。旭化成はトップと一分40秒差で3位となり、5連覇を逃した。4位は日立物流で初

エースの欠場響く

旭化成は1区から一度も首位に立てず、5連覇はならなかった。東京五輪1万円代表でエースの相沢が昨年12月下旬に右膝を痛め、欠場したのが響いた。昨春就任した西村監督は「区間賞が一人も出なかった。力負け」と完敗を認めた。

3区の大六野が13位が入賞。5位はホンダ、6位は三菱重工だった。富士通は4区で東京五輪マラソン代表の中村匠吾が、3位から首位に浮上。その後はトップを譲らず、後続との差を広げた。2位まで順位を押し上げ、その後は上位でレースを進めたが、富士通の背中は遠かった。大六野は「悔しい。最後の話めが足りなかった。またチーム一丸となってやってくしかない」。気持ちを切り替え、王座奪還を誓った。(9面に関連記事)